

## 栃木県眼科医会理事会(平成22年度第6回)

日 時：平成23年3月16日(水)午後7時より

場 所：宇都宮市医師会館

出席：宮下会長、原(裕)、旭副会長、木村、大久保(彰)、吉沢(徹)、苗加、福島、  
落合(憲)、大沼、井岡、高橋(雄)理事、茨木顧問 計13名

欠席：大野、上田、牧野、城山、小幡、斉藤(春)、斉藤(哲)、堤、松島(博)理事、  
松島(雄)、鈴木(隆)監事、早津、稲葉(光)、田口、柏瀬、斉藤(武)、佐藤、  
妹尾顧問 計18名

### [会長挨拶]

3月11日に地震がありまして、皆さんのところも大変だったと思います。また、今日は計画停電のため、県眼科医会始まって以来の真暗な中での理事会となりました。ただ、今私に入っている情報では、岩手県宮古市で開業していた先生の診療所では、一階部分は津波のため完全に壊滅し、電気、水道、ガス全てが止まった状態で3日間2階に籠城状態で過ごされた、との事、またまた釜石市の先生は、2階まで津波でやられ、診療所、自宅ともめちゃめちゃになり、避難場所の県立釜石病院に行ったあと、それでも医師として出来る事を、と考え、病院の診療に参加している、との事です。それらを聞いて、胸が熱くなる思いでいます。どうぞ、今日もよろしくお願いします。

### [総務]

報告：1. 平成22年度第2回関プロ支部長会議、関プロ連絡協議会の出席報告(3月6日(日)横浜市ホテルキャメロットジャパン)

関プロ支部長会議には宮下会長が出席。連絡協議会は宮下会長、原(裕)副会長、柏瀬顧問が出席した。(協議事項はほぼ重複)

#### \*協議事項

- 1) 会員資格の問題について。東京都眼科医会への入会希望者が専門医を志向する意思がない事を理由に不受理になった。吉田統彦議員によると、厚労省としては専門医でないと診療所の開設を認めない方向に向かうかも知れないので、専門医を取った方がいいだろう、との事。
- 2) 関プロ会費の徴収について。今後関プロ会報は会費を納めた者だけ

に送るようにしたい、との事。連盟費についても徴収率を上げていきたい。

- 3) 会計より。関プロ連絡協議会費が240万円程アップしているので、今後同会の出席者には、交通費として1万円程支給する予定。
- 4) 糖尿病協会から糖尿病新手帳が発行されたが、眼科の記入領域が少ないので使いにくい。日眼発行の糖尿病眼手帳や、各県の連携用の書式などを活用してほしい。
- 5) オルソケラトロジーについて。アイリスター麻布クリニック(東京都港区)でオルソケラトロジーを小中学生、高校生にもスポーツに最適と薦めているが、視能訓練士が施術しており医師法違反という事で行政指導が入った、との事、今後眼障害の発生などあれば報告してほしい。(日本眼科学会のガイドラインでは未成年への施術を適応外としている。これを守らなくても医師法違反などに問われる事はないが、障害発生時の責任は重いと思われる)
- 6) 千葉県から、今後コンタクト処方にあたり交付する承諾書を作製する予定との事、出来上がったら再度報告予定。
- 7) 1月23日に行われた代議員総務経理合同常任委員会に、原副会長が関プロ代表として出席、その時の決定事項について本会で報告した。内容は日眼医の公益法人化について、4月の定例代議員会並びに定例総会に上程するかどうか。これについて参加者26名中25名の賛成が得られた。今後の問題として、公益法人化した場合、内部留保金は30%以内である事、保留会員の扱いについて今後検討する必要がある事、などがある。
- 8) 第47回関東甲信越眼科学会が7月17、18日に軽井沢で開催される。車を使う場合、当日は渋滞が予想されるため、出来れば前日に到着するようにお願いしたい、との事。
- 9) 第48回関東甲信越眼科学会は、平成24年5月27日に横浜市ホテルキャメロットジャパンで開催される予定。

## 2. 栃眼医総務部会開催報告(2月15日(火)宇都宮市医師会館)

宮下会長、旭、原(裕)副会長、木村、吉沢理事が出席。次期役員的人事と担当、及び保険審査委員の人事等について検討を行った。

## 3. 日眼医平成23年度第1回定例総会の委任状の回収について

4月2～3日に開催される日本眼科医会第1回定例総会では定款及び定



昨年とほぼ同様だが、23年度は総務部の目標として男女共同参画の推進を追加。

**4. 平成23年度栃眼医総会式次第について**

22年度の会務、会計報告、23年度第1回日眼医定例代議員会および眼科一次救急の経過報告を行う。また23年度の事業計画、予算、眼科医会役員および理事交代の件、また、23年度眼科一次救急当番医選出について協議する(乱数表を用いた公平な選出法を予定)。その後健保研究会を予定。

**5. 平成23年度第1回日眼医定例代議員会、定例総会出席の件(4月2日(土)、3日(日))東京プリンスホテル)**

原(裕)代議員が出席予定。

**[経理]**

**報告：1. 生涯教育分科会補助金申請について**

本年度から申請が必要になったため、木村理事が栃木県医師会に収支決算書を添付し申請した。3月4日に例年通り100,000円が交付された。

**協議：1. 平成22年度栃眼医決算報告案作成の件**

原案を承認し、4月10日の総会に提案することとした。

**2. 平成23年度栃眼医予算案作成の件**

同じく原案を承認。

**[学術]**

**協議：1. 第21回下野栃木談話会の開催の件(獨協医大、万有製薬共催、当会后援、3月18日(金)小山グランドホテル)**

震災により延期または中止となった。

**2. 第61回栃木県眼科集談会開催の件(4月10日(日)自治医大)**

予定どおり開催する。

特別講演：「眼瞼と結膜に見られる腫瘍の診かたと治療」

東京医科大学眼科学教室主任教授 後藤浩先生

午後の懇親会は理事会当日は開催予定としたが、その後震災後の緒事情を考慮し、中止となった。

**3. 第45回栃眼医研究会の開催の件(6月24日(金))**

宇都宮グランドホテルで開催予定。

特別講演

- 1)北九州市立総合療育センター 高橋広先生(ロービジョン関連)
- 2)鹿児島大学医学部眼科学教授 坂本泰二先生(硝子体疾患)
4. 第34回獨協医大栃眼医合同講演会の件  
7月22日(金)獨協医大で開催予定。テーマは黄斑疾患関連、演者は未定。
5. 第19回栃木眼科セミナー(自治医大、興和創薬共催、当会后援)の件  
平成23年10月に開催予定。演者その他は未定。

#### [医療安全対策及び福祉]

報告：1. 平成23年度眼科コメディカル講習会開催の件(1回目1月23日(日)、2回目2月20日(日)帝京大学)  
例年通り5回予定となるが、試験や講習終了証の発行の予定はなく、今回で終了となる、との事。

協議：1. 第74回栃眼医親睦ゴルフコンペについて(宇都宮カンツリークラブ)  
平成23年5月22日(日)開催予定。12名が参加予定。

#### [保険]

- 協議：1. 日眼医全国審査委員連絡協議会出席者と提出議題(5月29日(日)東京プリンスホテル)  
旭副会長が出席予定。提出議題はメチコバル錠の適応、緑内障禁忌薬の自動的査定問題について。
2. 健保研究会の件(4月10日(日)自治医大)  
眼科医会総会に続き、11時30分より開催予定。例年通り健保担当理事と審査委員が出席し、会員からの質問に回答する。
  3. 平成23年度第1回栃木県社保国保審査員連絡協議会の日程について  
今年の関プロが7月17、18日開催と例年より遅いため、後日日程を調整する予定。
  4. 社会保険審査委員交代の件  
城山審査委員の辞任に伴い、平成23年6月より宮澤敦子先生が就任する事となった。

#### [広報]

報告：1. 関プロ会報編集委員会出席報告(2月6日(日)横浜プリンスホテル)

大野理事が出席したが、本日欠席のため、報告は次回。

## 2. 栃眼医会報第44号 随筆担当について

現在未定、後日協議予定。

### 協議： 1. 新聞掲載広告について

旭副会長より提案。現在コンタクトの啓蒙目的などで年5回新聞広告を出しているが、注目度が低く効率が悪い。来年度より年2回(目の愛護デーと春に1回)とし、その代わりに予算をかけたものにたい。

## [学校保健]

### 協議： 1. 学校健康診断に関するアンケート調査について

宇都宮医師会で養護教諭に対して行ったアンケート調査で、眼科健診に対し寄せられた意見を、4月10日の栃眼医総会で報告する事にした。

### 2. パンフレット「みんなが見やすい色環境」の配布について

宮下会長より、文科省は2020年に教科書のデジタル化を目指している。それについての眼精疲労や色覚問題などを検討するワーキンググループを眼科医会の中で立ち上げて検討中との事。パンフレット「みんなが見やすい色環境」を同じく総会で配布する事にした。

## [公衆衛生]

### 報告： 1. 「目の愛護デー」関連行事について

平成23年10月2日(日)にララスクエアビルで開催予定。

### 協議： 1. 「目の愛護デー」関連行事の内容・無料相談担当医師について

目の健康講座の講師を獨協医大から選出予定。次回理事会までに内容などを検討する予定。無料相談員については、新たにA会員となった先生を主とし、今までに長く担当していなかった先生方にもお願いをする予定。

### 2. 啓発新聞広告掲載について

新聞広告の回数を減らす分予算をかけ、内容も講演のテーマに沿ったものにした。

### 3. 眼科一次救急診療当番新規選出の件

平成23年10月10日以降の救急担当については、昨年同様に乱数表ソフト

を用い、公平を期して総会で行う事とする。

4. 平成23年度J R P Sとちぎ 医療講演、相談会(9月18日(日))への講師派遣について

今年は真岡地区から原正先生にお願いする予定。

[医療対策]

協議：1. 「『医療機器・販売業等の管理者に対する継続研修』の作成資料につて」  
日眼医より送付(3月1日(火))  
事務局宛てにCDが送付された。

[勤務医]

協議：1. 第16回栃木県眼科手術談話会について  
平成23年5月27日(金)に宇都宮医師会館で開催予定。

[日眼医連盟]

報告：1. 「日眼医連盟委員会平成23年第2回連盟委員会摘録」日眼医連盟より送付  
(2月14日(月))

[その他]

福島理事より。計画停電により医療活動に支障を来たす事が多い、当会として何か提言が出来ないか。現状では発電設備の斡旋も人工呼吸器を備えた医療機関が優先であり、眼科まではまわらないのが現状のよう。

次回理事会は5月18日(水)に開催する。

以上  
(吉沢 徹 記)